

1992年 7月10日

&lt;毎月10日発行&gt;

・第149号 4頁 200円

定期購読料（送料込み）

半年 1500円、1年 3000円

# 赤旗

せつき

共産主義者同盟中央機関紙

発行

赤路社

7・8月合併号

東京都下谷郵便局私書箱180号  
(関西) 大阪市港郵便局私書箱40号  
郵便振替 東京 9-352128

国連によるカンボジア支配を打ち碎け

# 日本出兵を実力阻止せよ



PKO法案廃案へ熱気に包まれた参院議面前集会 (6月5日)

PKO協力法案と国際緊急援助隊派遣改悪法案が、六月一五日に衆院を通過、成立した。これを受けて国会は、「生活大国民化」をめざす生活関連法案などを、「参院は不正常な状態とは言えない」として出席した社会

## 国際主義の赤旗かかげ 総力戦へ

法案成立を受けて、宮沢自民党政府は総理府内に「国際平和協力本部」準備室を開設するなど、今秋の自衛隊＝日本軍カンボジア出兵に突き進んでいる。その狙いは、今秋のカンボジア出兵だけにとどまらず、それを突破口として「国連の平和維持活動」協力を名目とする自衛隊を押し立てる、わが国の帝国主義的世界秩序への軍事的貢献への踏み込みであり、とりわけ改悪国際緊急援助隊派遣法をも横桿としたアジア・太平洋諸国への日本帝国主義軍隊の展開である。

PKO協力法案と国際緊急援助隊派遣改悪法案が、六月一五日に衆院を通過、成立した。これを受けて国会は、「生活大国民化」をめざす生活関連法案などを、「参院は不正常な状態とは言えない」として出席した社会

党議員をふくんで可決・成立した。そして、PKO協力法案と並んだ今国会の焦点とされた「政治改革」問題の処理すら次期以降の国会に先送り、日程を二日残して事实上閉幕してしまった。

PKO協力法案と国際緊急援助隊派遣改悪法案が、六月一五日に衆院を通過、成立した。これを受けて国会は、「生活大国民化」をめざす生活関連法案などを、「参院は不正常な状態とは言えない」として出席した社会

# 全人民的戦闘布陣を カンボジア出兵阻止へ





## 日雇全協第9回大会（6月28日、横浜・寿）

全国日雇労働組合協議会  
第九回大会が、横浜・寿の  
神奈川県労働会館において  
各支部代議員・労働者・支  
援あわせて百五十名の結集  
をもって開催された。

大会はまず、斎れた仲間  
に黙祷を捧げたのち、カラ  
バオの会と沖日労の連帯ア  
ピールを受けた。カラバオ  
の会からは、滝日アジア人  
労働者との連帯六年目に  
入り、強まる排外主義の風  
潮の中で特にビザ取得に関  
するサギへの対処、滝日ア  
ジア人女性貿賣に対する  
「かけこみ寺」の今秋より  
の設置等、今後の行動方針  
が述べられた。沖日労から

は、秋の首里城完成、来年  
の植樹祭をひかえ、「復  
帰」二十周年をテコに、  
「皇民化」攻撃が強化され  
ている事態に対決し、「支  
配者の思い通りにさせない  
闘いを！」と力強いアピー  
ルがなされた。更に、多く  
の団体・個人からの連帯ア  
ピールが紹介された。  
つづいて議案の提起に移  
った。  
議案は、「戦争と大不  
況」情勢を撃つ戦略布陣の  
構策と闘争方針をとりわけ  
以下の四領域において提起  
した。  
第一の金町戦に関しては  
この間の侵略国家体制への

政治情勢の急激な流動を見据え、対ファシスト戦と位置づけ闘うことが強調された。

第一の労働問題に関しては、不況下、飯場求人・現金求人が減少し絶対的なアブレ地獄情況にあるとの認識に立ち、飯場闘争を軸に労供体制を撃つ闘い、高令者・「障害」者・病弱の仲間の就労保障をかちとる闘い、国策勤員との闘いが提起された。

第三の人バト・医療・保安処分問題に関しては、アオカン者の追い出し、狩り込み、差別襲撃の激化している現状を明らかにし、人

## 「戦争と大不況」情勢に対決

最後に、新族を行表して反対同盟の小川剛正さんがあいさつを行った。

利の報告を行う決意を固めなければ  
ならない。

我々は、源さんの意志を受け継いだ反対同盟の闘いに応え、墓前に勝利の報告を行う決意を固めなければならぬ。

六月三日、反対同盟代表世話人であり、「農地死守・空港粉碎」を掲げて三里塚闘争を先頭で闘い続けてきた、木の根部落の小川源さんが逝

儀では、焼香に続い<sup>一</sup>、親友に持つことができた私は、本当に幸せだった。一年の半分近く、日数を反対闘争と遊びと仕事を二人で過ごす友であった。それだけに今

## (二面よりつづく)

ボジア派兵への「国際的合意」のとりつけを急いでいる。だが精銳三万の部隊を誇るボル・ボト派は武装解除と国連の行政介入に反対しているなど、

カンボジア情勢は流動的で韓国、フィリピンをはじめとするアジア諸国人民の反日・兵闘争も大きく高揚しある。

われわれは、今秋の自衛隊力  
ソボジア出兵阻止の全人民的決  
戦態勢を今から直ちに、総力を  
あげて形成していかなければな  
らない。

卷之三

## 大阪での反PKO闘争

つどいが千五百名の参加の下、開催された。集会は、  
大阪反戦一坪会、石垣島、白保に空港をつくらせない  
大阪の会、護憲連合の呼びかけに三百七十余の団体、  
個人が賛同し、実行委員会で作られたもの。沖縄は現在、更に基地機能の強化と日帝の支配再編強化の渦中にあつた。五月十二日の明石表の「沖縄にPKOのための物資集積所・要員訓練所を」の表明こそ、その事を明白に示した。

6・21 阪 沖縄と連帯し  
大 千五百名が

された「復興閣僚會議」は、また現在、今後の派兵阻止闘争において、帝国主義の「新秩序」総体との対決カンボジア人民の解放闘争との連帶が革命的反戦闘争の重要な課題となってきた。民主カンブチアを始めとするカンボジア人民の反帝決起と連帯し、夏、秋の出兵阻止闘争をたたかおう。

ます能動的役割を強め、侵略戦争体制構築を加速させている。

秩序」の下で、日帝はます終わった。米帝の「新世界の「東京宣言」を採択して、民主カンブチア（ポル・ボト派）を強引に出席させ、政治と経済にかんする二つの「新秩序」総体との対決カンボジア人民の解放闘争との連帶が革命的反戦闘争の重要な課題となってきた。民主カンブチアを始めとするカンボジア人民の反帝決起と連帯し、夏、秋の出兵阻止闘争をたたかおう。

PKO法案が成立してし

勢は流動的であり、われわれは、今秋の自衛隊力  
ピンをはじめとす  
ンボジア出兵阻止の全人民的決  
人民の反日・反派  
戦態勢を今から直ちに、総力を  
あげて形成していかなければな  
く高揚しはじめて  
らない。

